

# YES - Metals!

Young Engineers Society - Metals!

日本技術士会・金属部会 金属部門若手技術者の会 機関誌

第113号

2020年

月日

文責 松下、  
福崎、大菌、岡  
崎

7月18日(土)、機械振興会館にて、YES-Metals!の第113回会合が開催され、を行いました。  
会場でのリアル参加、ZOOM併用で実施しました。(会場参加者13名、ZOOM参加者17名)

## 1. 『新規事業立ち上げ体験記 ～活動とご縁～』 講演者：大菌 剣吾さん(金属・機械)

大菌さんは独立技術士として活動されており、技術士事務所「SOMEI TECH」の代表です。そして今年の6月に法人の立ち上げも行いました。本日は1. 技術士業、2. 技術者教育、3. BISAI という3テーマについてご講演頂きました。

### 1. 技術士業

大菌さんは繊維産業が盛んな愛知県尾西市出身です。大学卒業後印刷会社に就職して最初の仕事は金型をレンズ加工して、その後めっき処理する仕事でした。めっきでは周りの人の年齢は50代、60代で自分が一番の若手でした。

その後、液晶工場の立上げ、半導体、ラミネーション印刷などの異なる分野での仕事を数多く経験しました。それぞれの経験期間はおよそ3年程度でした。新しい仕事変わる度に大菌さんは最初の頃はとくかく学びの期間として勉強しました。そして徐々にこれまでの経験を発揮しながら成長していきました。

技術士事務所ソメイテックの由来ですが、ソメイヨシノからきています。接ぎ木という「クローン技術」によって全国に広がったソメイヨシノのように後世に技術を残す想いがこめられています。ソメイテックでは電子部品、薄膜、微細化工などのコンサルティングや固有技術を生かした新しい事業開拓を行っています。

### 2. 技術者教育

開業初期のご縁で知り合った特許調査会社と協力して技術士による専門技術のセミナーを行うアイアール技術者教育研究所を立ち上げました。例えば金属業界、自動車業界などの様々な専門家が若い技術者にセミナーを行います。またeラーニングや記事型広告にも取り組んでいます。現在無料のモニターを募集しています。

### 3. BISAI

ご自身の出身地である愛知県尾西市にちなんだ法人を2020年6月11日に立ち上げました。これまでの経験をもとに産業に価値を見出すこと、プロダクトサービス開発、社内ベンチャーの立上げなどさらなる活動を行っていきます。

本日は貴重なご講演、誠にありがとうございました。



## 2. 『技術士 PR 活動』 講演者：松下 滋さん(金属、総監)

松下さんより、技術士の PR 活動について講演いただきました。松下さんは京セラ株式会社ご出身、技術士事務所 Excelsior! 所長、聖パウロ国際大学特任教授（シニア創業論）、株式会社 STANDARD 特別顧問、株式会社フォーカス執行役員で、YES-Metals! 幹事の一人です。「正しい想いは必ず実現する！技術士よ！大志を抱け」「技術士の力で活力ある日本を！」の思いから活動を続けられています。



技術士 PR 活動の目的は「技術士の認知度向上」と「技術士の活躍推進（活用）による、産業界・国際社会への貢献」です。情報発信強化の活動内容として、①書籍出版、②講演、③動画の活用、④ラジオ番組作成⇒配信、⑤新聞を挙げています。

書籍「正しい想いは、必ず実現する（三冬社）」を6月に出版されました。今後、自立創業のノウハウ本、技術士ガイドブックの出版を予定されています。

技術士 PR 活動のポイントとして、動画の活用を挙げられています。PV の制作⇒広告や展示会・講演会の発信、YouTube の配信など、拡散性の高いコンテンツを活用していくことを意図されています。技術士部門ごとのキャラクター化（擬人化）などの独創的なアイデアも出ています。ラジオ番組は、FM 八王子での発信の企画案、企業や大学との協業など、具体的な準備を進めています。

松下さんの技術士としての活動についてもご紹介いただきました。事業化のイメージをロゴマーク（右図）として示されています。様々なご縁から活躍の幅を広げられています。

技術士の PR 活動を精力的に進められる松下さんの今後の益々の活躍を期待します。



## 3. 『T 式ブレインライティングについて』 講演者：徳永 幸生さん(芝浦工大名誉教授)

先生は NTT インターフェイス研究所で映像処理の研究開発をされた後、芝浦工大の情報工学科で教鞭をとられ、現在は名誉教授です。今回は NTT にお勤めの 1995 年頃、次世代テレコムに関する特許 200 件以上を出した発想法、T 式ブレインライティングの説明と、演習をしていただきました。

T 式ブレインライティングは、特許創出に絶大な効果を発揮しましたが、様々な身近な課題解決、市場開拓、商品開発にも役立つ自由発想法です。ポイントは、多人数で発想会議を行うことで、視点の異なる意見を起点に発想を広げることです。その際に他人の意見を否定することも OK です。



流れは以下で、沈黙して考え、短時間に、多様な視点に対して頭をフルに使い、書き上げるものです。

- ① 課題についての簡潔明快なブリーフィング：主催者
- ② 課題の理解の為に短い質疑：参加者全員
- ③ 2 x 4の記入シートに各自黙って、提案のタイトル、背景/理由、具体的内容を1段目のマスに2つ記入（10分程度）
- ④ そのシートをグループ内で、他の人のアイデアを基に発想して、2段目のマスに同様に記入
- ⑤ これをグループ内で4回繰り返す。各列は発想の連鎖となる。

今回は、以下の2グループに分かれ、演習を行いました。

グループA：栃木苺事業の採算向上策

グループB：社内ベンチャー創出企画アイデア

短時間に案を書き上げること、他人の意見を基にアイデアを膨らませることは、予想以上に難しいが、捻り出せたことに達成感を持ちました。慣れると、強い武器になると思いました。

最後に先生からこの発想会議を成功させるためのポイントが示されました。

- ・ブリーフィングの質が7割(事前準備がこの発想会議の成否を決める)
- ・多様な視点が命で、構成メンバーの選定が重要
- ・時間密度が重要(短時間のプレッシャーが集中力を生む)
- ・書くことで、頭の回転が促進され考えが整理される
- ・誰でも出来そうと思える条件設定

上記に留意して。実際に職場で試してみたいと思います。有難うございました。

復習に先生の著書をご活用下さい。

「T式ブレインライティングの教科書」 徳永 幸生著 三冬社

#### 4. 反省

今回は、初めてのリアル参加+ZOOM参加の併用開催でした。不慣れで準備不足で、ご迷惑をかけたしました。お聞き苦しく、参加者(リアル参加、ZOOM参加双方)に対する配慮も不十分だったと思います。幹事一同で運営の改善はかります。今後とも、何卒宜しく、お願いいたします。

#### 【投稿】

YES-Metals!機関紙では、会員の皆さんより投稿を募集しております。内容は、近況、携わった業務のPR、会合の感想等、何でも結構です。文字数は、最大A4半ページが目安です(一行コメントも大歓迎)。会員の皆様は是非、投稿をお寄せ下さい。投稿先：[yesmetals@gmail.com](mailto:yesmetals@gmail.com) 以上